

## U15b ニュートリノ振動のメカニズム

小堀しづ

ミューニュートリノは‘変身’し、エネルギーの大きいニュートリノに成る場合、地球の中の場のエネルギーを付加する。ミューニュートリノのエネルギーは  $3.044 \times 10^{-14} \text{J}$  で、 $1.264 \times 10^{15}$  個の電磁気よりできている。ミューニュートリノの電磁気1個のエネルギーは、 $2.409 \times 10^{-29} \text{J}$  で、電磁気の公転軌道は  $5.118 \times 10^{-13} \text{m}$  です。マグマを通過したとき、電磁気がミューニュートリノに加わり、ミューニュートリノのエネルギーを増加した場合。マグマの温度を  $1200^\circ \text{C}$  とする。マグマの  $A$  は、 $A=12001/2=3.464 \times 10$ 、です。この場の電子のラブの公転軌道は、 $1.058 \times 10^{-10} \text{m} \div (3.464 \times 10) = 3.054 \times 10^{-12} \text{m}$  です。電磁気1個のエネルギーは、 $1.233 \times 10^{-41} \text{Jm} \div (3.054 \times 10^{-12} \text{m}) = 4.037 \times 10^{-30} \text{J}$  です。ミューニュートリノの電磁気の軌道は  $5.118 \times 10^{-13} \text{m}$  であるので、この電磁気の軌道の上にマグマの場の  $3.054 \times 10^{-12} \text{m}$  の軌道の電磁気が束に成り、付加する。付加したマグマの場の電磁気の個数を  $x$  個とすると、ミューニュートリノのエネルギー+付加したマグマの場の電磁気のエネルギー=変身したニュートリノのエネルギー  $3.044 \times 10^{-14} \text{J} + x \times 4.037 \times 10^{-30} \text{J} =$  変身したニュートリノのエネルギー  $x = (\text{変身したニュートリノのエネルギー} - 3.044 \times 10^{-14} \text{J}) \div (4.037 \times 10^{-30} \text{J}) \cdot$  ミューニュートリノがタウニュートリノに成るには、 $(\text{タウニュートリノのエネルギー} - \text{ミューニュートリノのエネルギー}) \div \text{マグマの場の電磁気の光子1個のエネルギー} = (2.916 \times 10^{-12} \text{J} - 3.044 \times 10^{-14} \text{J}) \div (4.037 \times 10^{-30} \text{J}) = 7.149 \times 10^{17}$ (個)、付加した。